



おおいた 若手会員 News Letter

平成24年9月15日発行

第1号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株) インタープリント TEL 097-568-8123

若手会員委員会の発足から今日まで

平成20年度の大分県看護連盟通常総会終了後、若手会員の会を立ち上げた。立ち上げた背景として・・・

1. 連盟の役員は退職した人が多く現役の役員もベテランが多い（若者がいない）
2. 連盟活動に若者の考えを入れたい。
3. どうすれば若者が政治に関心を持ち選挙の時に投票に行くようになるか。
4. 20歳代、30歳代の若者が6割を占める連盟組織なのに、若者の意見が反映され難い等があげられ組織の強化・拡大のためには是非とも必要な会だと考え発足した。

各支部で2名の若手委員を選出してもらい18名の委員で平成20年8月30日に第1回若手会員委員会を開催し、若手の活動が開始された。これまでに1回のミニポリナビワークショップと2回のポリナビワークショップを開催し若手会員の力が発揮されている。

若手会員委員紹介

委員長

湯布院厚生年金病院 秋吉 和恵



昨年から若手委員会の委員長を務めています。勤務先は湯布院厚生年金病院で、現在は手術室に所属しています。上司からの勧めで若手委員としての活動を始めて5年が経ちます。活動を始めた当初は、看護連盟に関する知識も乏しく、手探り状態からのスタートでした。しかし、今では他の若手委員と共に楽しく活動しています。10年後、医療の現場で中心的役割を担うのは私たち若手看護職です。私たちが生き生きと働くためには、現場の課題を発信していくこと、そして私たちの声を政策として反映してくれる人が政治の場にいることが必要不可欠です。若手委員会ではそのことを考える機会を提供しています。ぜひ一度「ポリナビ」に参加してみてください！

副委員長

大分県立病院 小川 央



私は若手会員委員会発足当初から関わらせていただき、現在は副委員長をさせていただいています。昨年、日本看護連盟主催の第3期政治アカデミーを受講しました。政治アカデミーでは全国から看護の現場を良くしたいと考える仲間が集まり、現場で起こっている問題の絞り込みや改善方法について話し合いました。また、多くの講師の方々から問題解決への取り組みに向けた話を聞くことができました。私たち看護師がベッドサイドで患者に適した安全で安楽な看護を展開するために取り組まなければならない問題は沢山あります。政治アカデミーの経験を活かし、これらの問題解決に向けた活動をこれからの若手会員委員会で取り組んでいきます。

副委員長

大分県厚生連鶴見病院 坂本 あゆみ



今期より、若手会員委員会の副委員長をさせていただいています。委員会発足当初から参加させていただいており、二期目となりました。発足当初は、まだまだ知識も未熟であり、安東会長さんをはじめとした諸先輩方のご指導の元で活動をしてまいりました。私は、委員会活動を通じて看護が抱えている問題、私達を取り巻く労働環境を考えるきっかけを作っていただいたと思っています。今度は私が周りに情報発信し、自分たちが抱える問題を考えるきっかけ作りをお手伝いさせていただきたいと思っています。今年は来る選挙を見据えて、若手委員も一致団結、熱伝導で活動を盛り立てていきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

国東・杵築・日出地区支部



国東市民病院 鳥羽 貴久美

私は国東市民病院に勤務して、6年目になります。最近導入された電子カルテに取り組みながら、後輩の育成にも力を入れています。大分県看護連盟若手会員委員会に参加させていただいて2年目に入りました。ポリナビの開催などを通して、若い人たちに看護連盟の活動や政治・選挙の大切さを伝えていくよう努力しています。今後も若手会員委員会での会合で、視野を広げながら連盟の意味を伝えていけるよう活動を行っていきたいと思います。



杵築市立山香病院 徳永 芽依

私は現在杵築市立山香病院のせほね病棟で手術の患者さんを毎日看護しています。今回、若手委員となり看護と政治の繋がりについてより深く学んでいけたらと思います。又、県内外のポリナビに参加することでたくさんの意見や考えを知り委員の活動に繋がたらと考えています。

別府地区支部



別府リハビリテーションセンター 野上 知紗

別府温泉地獄地帯の近くにある別府リハビリテーションセンターという回復期病院で勤務しています。当センターはユニット制を取り入れ多職種が1つのチームとなり、患者の目標とするADLに近づけるよう関わっています。看護連盟若手役員として研修会等に参加するなかで連盟の役割・必要性を学び政治について少し関心が持てるようになりました。今後、職場のスタッフに連盟の役割を少しでも理解してもらえるよう活動していきます。

大分北部地区支部



永富脳神経外科病院 曾我 知紀

看護連盟の若手委員として参加し約2年が経過しました。その中で看護連盟は政治的介入の役割を担っていることを再確認しました。私達が仕事を有意義に行えているのも政治的介入がなされ、先人達の大きな苦勞があったからだと思います。今私は自院での連盟活動に力を入れ、特に政治的活動を活発化させることにより、より良い仕事環境となることをスタッフに声かけし意識付けを行っています。また若手委員内の活動としてはポリナビを計画、実施し若い年齢層の政治的活動の向上を図ってきました。初回は先輩達の流れについて行く事で精一杯でしたが、今回は自分がリーダーシップをとる気持ちで頑張っていきたいと思っています。また活動の中で他病院の方々とも交流をもち、大分市内の病院間の架け橋となれるよう努めていきたいです。



永富脳神経外科病院 伊藤 陽介

脳卒中の専門病院で、急性期から慢性期、脳卒中予防、救急看護など幅広く学べる環境で自らも学び、また指導する役割も担い後輩の指導に当たっています。看護師としての経験はまだ浅いのですが、その内の約2年を若手会員委員として活動させていただいています。看護と政治の結びつきについて、難しいというイメージを無くし、理解を深める事が出来るよう、「伝える」活動を今後も行っていききたいと思います。

大分北部第2地区支部



大分赤十字病院 安田 真弓

昨年度より若手委員会の一員となり、院内では幹事として看護連盟の活動を行っています。以前は看護と政治についてほとんど深く考えたことがありませんでしたが、ポリナビや連盟での研修を通して、国政の場へ私たちの代表を送り出すことの必要性を少しずつ理解することができました。今後は若手委員として、連盟の活動や政治との関わりを理解してもらえるよう働きかけ、今私たちにできることを考え行動し看護の現場が少しでも働きやすい環境になるよう活動していきたいです。

大分南部地区支部



大分市医師会立アルメイダ病院 小野 沙織

私は副主任として師長の補佐やスタッフの指導・教育にあたっています。平成20年より若手会員委員会のメンバーとなり、看護連盟の理念や方針を知り、国民の健康と福祉の向上に貢献するために、政治の場に看護職の代表をおくり看護政策を実現させることの重要性を学びました。また、連盟総会への参加やポリナビワークショップの運営を経験しました。これからの未来のためにベッドサイドからの声を伝え、看護と政治の結びつきの重要性を若者に広げていけるような連盟活動を若手会員と楽しみながら行っていきたくと考えています。



大分市医師会立アルメイダ病院 北原 早由里

初めは曖昧にしか理解出来ていなかった看護と政治の繋がりが若手会員の役員会を重ねるうちに理解できるようになりました。看護師を取り巻く環境は、一昔前に比べれば確かに良くなってきています。しかし、実際はまだまだ問題点や悩みが多いというのが現状です。連盟活動を通じて環境をより良く変化させる為には何が必要かを考え、「看護の未来を変えること」が出来るよう今後も努めていきたくと思っています。

竹田・豊後大野地区支部



豊後大野市民病院 久保田 里美

看護連盟若手委員2年目となりました。この1年間若手役員の方と共に研修への参加、ポリナビの開催などを通じ、看護連盟の役割、活動を知ることができました。自院では、看護連盟の役員を一人でスタートしましたが、去年より病棟連絡員を配置し多くの看護職に「熱伝導」を伝えていくために活動しています。今後も看護連盟の活動に積極的に参加していきたいと思っています。

豊後高田・宇佐・中津地区支部



村上記念病院 森田 真由美

今年7月から若手委員会の役員になりました。看護学校を卒業後大阪の病院で4年間働き家庭の都合で実家のある中津に戻り、現病院では2年目です。私は人と話すのが苦手自分から意見を言えない面もあります。今回若手会員委員会への参加により積極的に人とコミュニケーションをとり、交流を深めたいと思っています。また、ポリナビワークショップという活動に参加して勉強していきたいと思っています。



高田中央病院 江藤 英里

私は昨年から大分県看護連盟若手会員として活動させていただいています。若手会員委員となり、今まで知らなかった看護連盟や活動内容について日々学んでいます。そして、今の私たちがあるのはたくさんの先輩看護師の方が努力してくださったおかげであると実感しています。この学びを活かし、連盟活動や政治と看護の繋がりについてたくさんの方に知ってもらえるように他の若手会員と共に頑張っていきたいと思っています。

玖珠・日田地区支部



大分県済生会日田病院 山本 梢

大分県看護連盟若手委員として活動を開始し2年目になりました。若手会員委員会ではポリナビの開催を行い若手会員に活動を知っていただく様に取り組んでいます。今年は、若手会員内で政治と看護についての学習会を行いより知識を深め、所属している病院・地域のスタッフ（非会員も含め）へ自分の学びを還元していきたいと思っています。今年も楽しく、一生懸命頑張ります。



大分県済生会日田病院 梅木 宣子

壮年期にある私が、“若手”という響きに戸惑いながらも、2年目を迎えることができました。私達の世代が、実際の現場の声を伝える必要があり、その役割を与えられていると感じています。また、知識・勉強不足でどんなことに貢献できるかわかりませんが、他の若手会員、病棟連絡員と協力し合い、連盟の活動を現場に、“自分の考えをしっかりと持ち、熱意をもって伝える”ことができるよう活動していきたいと思っています。

臼津・佐伯地区支部



西田病院 山路 ちよ恵

私が、若手会員委員会に入って3年目になります。はじめは『ベッドサイドから政治を変える』って何？と思いました。委員会を通して少しずつわかってきた気がします。実際、活動について知らない方々も多いと思いますので、これからもみんなに知ってもらえるよう、若手委員メンバーとして活動に取り組んでいきたいと思っています。まだまだ未熟な私ですが、これからも頑張っていきます。



健康保険南海病院 渡部 あい

平成22年より若手委員の一員として活動をさせていただいております。近年日本は、震災や豪雨といった未曾有の出来事に遭遇し、心を痛めることも多くありますが、そんな中、改めて絆や助け合う心、看護の力の大きさを実感しています。若手委員会では、ポリナビの企画・運営や若い会員への講演企画を行い、若い会員に近いポジションで情報発信源として活動しています。これらの活動は決して一人でできるものではなく、幹事長はじめとした諸先輩方、会員の方の協力によって成り立っています。これからも、看護師にとってより良い労働環境になるよう活動を続けていきたいと思っています。

由布地区支部



湯布院厚生年金病院 工藤 三幸

はじめまして。上司の勧めで若手会員委員会に入り、早くも5年目を迎えました。当初、一般病棟勤務でしたが現在は手術室に所属しています。いつもココロに若葉マークの精神で、笑顔と好奇心を胸に日々精進しています。また、定期的な委員会は他病院との交流の場となり楽しく参加しています。若手委員として同世代の仲間へ向け情報を発信し、諸先輩方との架け橋になりたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

ポリナビとは…??

看護連盟20歳代会員を中心として2007年に発足した集まりのことで「Politic Navigators' Network (正式名称)」の略です。ポリナビでは「政治」や「政策」の学習を通して自分たちにもできることを考え、実行することで日本の看護・医療がより良いものになることを目指しています。

<理念>

政治・政策的な切り口から「私達の働く環境」「日本の医療」「患者さんの笑顔」のために活動します。

<目的>

若手看護職が医療政策や政治に興味をもつことで看護職の政策課程への参加の活性化と将来を担える人材の育成を図り、より良い医療の実現を目指すこと。

<背景>

20歳代看護職は全体の約30%を占めます。しかし、20歳代看護職の医療・看護政策への関心は低く、その要因には情報不足があると思われます。

<担うべき役割>

若手看護職が政治・政策に関心をもてるよう働きかけること

看護連盟の若手看護職のネットワークを構築し、若手看護職が自立して活動できるような場づくりに寄与すること

これまでのポリナビワークショップ

ミニポリナビワークショップ (若手会員研修会として)

日時：平成20年12月13日 13:00~16:00

会場：アイネス(2F)大会議室

参加者：73名

(プログラム) 特別講演 「いきいきと働くために」

講師：窪田 和巳先生 (日本看護連盟 幹事)

グループワーク 「今、私たちにできること」

※平成21年1月16日発行 「れんめい大分」42号掲載



第1回ポリナビワークショップin湯布院

～さきり拓け 看護の未来～

日時：平成22年6月5日 13:00~17:00

会場：湯布院厚生年金病院「保養ホーム」

参加者：127名

(プログラム)

第1部 特別講演「ナースプラクティショナー (NP) について」

講師：草間 朋子 先生

(日本看護協会副会長、大分県立看護科学大学理事長兼学長)

第2部 シンポジウム

「私たちにもなれるプロフェッショナル～看護の可能性を探る～」

小児看護専門看護師について 品川 陽子氏 (大分県立病院)

緩和ケア認定看護師について 松永 さゆり氏 (大分県済生会日田病院)

事業発起 ワンコイン検診について 川添 高志氏 (ケアプロ株式会社)

第3部 グループワーク 「夢を語ろう～今と10年後の私～」

※「アンフィニ」2011年春号に掲載



第2回ポリナビワークショップinおおいた

なでしこDREAM サムライ魂

～今、私たちにできること できないこと～

日時：平成24年3月11日 12:45~16:30

会場：大分県看護研修会館(3F)大研修室

参加者：93名

(プログラム)

第1部 特別講演「看護と政治」

講師：石田 まさひろ 先生 (前日本看護連盟幹事長)

第2部 講演「災害支援について」

「大分県看護協会の災害支援の取り組み」

講師：藤垣 則子氏 (大分県看護協会常務理事)

「東日本大震災の救護に参加して」

講師：林 加奈子氏 (大分赤十字病院)

第3部 グループワーク「今、私たちにできること、できないこと」

※「アンフィニ」2012年夏号に掲載



これからのポリナビワークショップ

ポリナビワークショップ	日時	会場	内容
全国ポリナビワークショップin福島 芽生 (めばえ) (主催) 日本看護連盟・福島県看護連盟	平成24年10月17日(水) 13:00~16:30	郡山ビューホテル	シンポジウム: 「震災を経験して今伝えたいこと」 スピーチ: 石田まさひろ氏 パネル展示: 震災関係写真
ポリナビワークショップinおおいた (研修会) (主催) 大分県看護連盟	平成25年1月22日(火) PM	(未定)	講師 石田まさひろ先生
九州ポリナビワークショップin福岡 ～拡がる 繋がる 九州・沖縄若手の力～ (主催) 九州ブロック看護連盟・ 青年部ポリナビ実行委員会	平成25年2月2日(土) 13:00~17:00	ナースプラザ福岡 研修ホール	基調講演 石田まさひろ先生